

# Dr. 中路の健やか通信 (其の19)

健やか協力隊長 中路



## 第19回 弘前大学 COI：企業の活動

弘前大学 COI に約 30 の企業が参画しています。今回はその活動内容について紹介します。

A 社は、無理しないでやせられる和食系の食事を開発しました。健康教育を受けながらその食事を毎日食べることで、体重管理をしていこうという取り組みをしています。その際、自社で開発した機器で、健康に良くないとされるお腹の中の脂肪を測定しています。

B 社は、口の中の衛生環境を判断する方法を開発しました。具体的には、真水を口に含んで数回口の中ですすいでそれを吐き出します。その水の血液、ペーハー、細菌数などを測定するのです。また、現在黒石市、教育委員会、南黒歯科医師会と連携して黒石市の小学生の歯並び調査・歯科教育活動をしています。

C 社は、手の指先の小さな血管の写真を撮り、「冷え性」を診断できないか研究をしています。

D 社は、少しきつめのインナー（下着）を開発し、これを活用して、ポッコリお腹に意識を向けさせメタボ解消できないかを実証しようとしています。むつ市との共同研究です。

E 社は、学校教育や健診などで用いるテキストを開発しています。

大手スーパーの F 社は、大型モールを歩くというキャンペーンをしており、その際に健康教育の機会を設けています。このモールウォーキングは今全国に広まっています。

G 社は、食生活改善推進員と連携して健康に良い食品（製品）を開発し販売しています。

ネット販売系の H 社は、料理家の浜内千波さんと一緒に健康レシピを全国から募集しました。

弘前市にある I 社は、「健康物語」というスマホ専用アプリを開発し、健診データを管理したり、健診情報を届けたりしています。

J 社は、岩木プロジェクトの腸内細菌のデータと健康データの関係を分析し、腸内細菌サービスを開始しました。

K 社は、健康リーダー育成事業をしたり、各店舗での健康づくりを弘前大学 COI と連携して取り組んでいます。

L 社は水と健康の関係を、M 社は高齢者の健康に良い食事の研究を、N 社はアミノ酸の健康に及ぼす影響を、O 社は手を載せるだけで野菜摂取量を推定する機器の開発を、P 社は認知症と嗅覚の関係を、生命保険系の Q 社は健康商品の開発を、R 社は自律神経機能と口コモの関係を、おのおの岩木プロジェクトのビッグデータで解析しています。

このように、多くの会社が弘前大学 COI に参画し、多くの商品開発や健康活動を展開しています。私としては、このような企業との連携を青森県の短命県返上活動に役立てていきたいと考えています。

弘前大学 COI 参画企業

---

マルマンコンピュータサービス株式会社  
東北化学薬品株式会社  
株式会社テクノスルガ・ラボ  
株式会社栄研  
イオンリテール株式会社  
カゴメ株式会社  
エーザイ株式会社  
花王株式会社  
協和発酵バイオ株式会社  
ライオン株式会社  
株式会社ベネッセコーポレーション  
シスメックス株式会社  
北海道システム・サイエンス株式会社  
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社  
日本コープ共済生活協同組合連合会  
クラシエホールディングス株式会社  
株式会社ローソン  
サントリー食品インターナショナル株式会社  
大塚製薬株式会社  
アツギ株式会社  
ハウス食品グループ本社株式会社  
株式会社ファミリークッキングスクール  
ヒューマンメタボローム  
明治生命保険相互会社  
株式会社ミルテル株式会社  
株式会社ファンケル  
株式会社青森銀行  
株式会社みちのく銀行  
味の素株式会社  
大正製薬株式会社、など